

平成30年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立中原小学校

●全国学力学習状況調査（小6・中3）

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	文の中における主語と述語との関連などに注意して、文を正しく書く。	52.1%	目的に応じて事例を挙げながら筋道を立てて話す問題の正解率は98.3%、慣用句の意味を理解して使う問題の正答率は98.3%、話し合いの参加者として質問の意図を捉える問題の正答率は89.9%と、以上の内容について理解している割合が高い。	読み取ったことを記述式で答える問題の正答率が低い。また、話し手の意図を捉えながら聞いて自分の意見と比べる問題や、目的や意図に応じて内容の中心を明確にし、詳しく書く問題の正解率が低かった。読み取った内容をまとめる学習がより必要である。
	話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして、考えをまとめる。	37.0%		
	目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く。	16.8%		
算数・数学	円周率の意味について正しいものを選ぶ。	38.8%	角の大きさを正しく選ぶ問題が97.5%、十進位取り記数法で示された数の大小を問う問題では、89.1%であった。活用では、合同な三角形で敷き詰められた模様の中から、条件に合う図形を見出す問題の正答率が84.0%で、理解している割合が高い。	知識では円周率に関する計算の理解が不足している。活用では、グラフの特徴を基に、複数の観点で考察したり、表現したりする問題の理解が低かった。資料を分類・整理し、表やグラフを用いて分かりやすく表現したり読み取る学習がより必要である。
	メモの情報とグラフを関連付け、総数や変化に着目して解釈し、それを記述する。	28.6%		
	棒グラフと帯グラフから読み取れることを適切に判断することができる。	32.8%		
理科	より妥当な考えを作り出すために、実験結果を基に分析して考察し、記述する。	26.9%	流水の働きを表す言葉を選ぶ問題の正答率は94.1%、海水と水道水を区別するために、2つの異なる実験方法から得られた結果を基に判断した内容を選ぶ問題の正答率は93.3%、と以上の内容を理解している割合が高い。	B区分よりA区分に課題があり、特にエネルギーについての正答率は5割台に留まる。具体的には、回路や物質の質量保存に関する問題を適切に読み取り、記述できる力を身に付ける必要がある。
	実験結果から言えることだけに言及した内容に改善し、その内容を記述できる。	43.7%		
	太陽と光電池について、学んだことを基にしたものづくりに適用しているものを選ぶ。	42.9%		

●児童・生徒の学力向上を図るための調査（小5・中2）

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	文と文のつながりに気を付けて、文を付け足して、文を組み立てる。	45.3%	「分かりやすく話す工夫をすること」「大事なことを落とさないように聞くこと」、「相手の考えと自分の考えを比較して聞くこと」についての問題に対する正答率が90.0%以上であり、理解度や意欲が高い。	文中の修飾語がどの語句を詳しく説明しているかを選ぶ問題の正答率が25.0%と低かった。また、文の中の主語と述語を選ぶ問題の正答率は41.4%であり、語句と語句や文と文のつながりに注意して文章を読み取ることに課題がある。
	文の中の主語と述語について着目して読む。	41.4%		
	文の中で修飾語と被修飾語に着目して読む。	25.0%		
社会	消防署の取り組みについて、ふさわしいものを選ぶ。	49.2%	地図を見て、縮尺から実際の距離にふさわしいものを選ぶ問題の正答率は、96.3%と高く、資料活用の設問は概ね正答率が9割前後であった。スーパーマーケットの見学で気付いた工夫の理由を答える設問も正答率が高く、体験的学習の成果が示された。	知識・理解に関する内容では、自分の小学校がある区市町村の位置についての問題の正答率が47.7%と低く、課題があった。思考・判断・表現に関する内容では、自分の生活や体験から考えて設問に答える問題の正答率が5割前後であり、課題が見られた。
	自分たちが通う市区町村の位置について分かる。	47.7%		
	家庭に確実に水が届いている理由について分かる。	57.8%		
算数・数学	分かっていることを表に表す。	35.7%	数直線で示された小数を答える問題の正答率が90.7%と高く、他の「数量や図形についての知識・理解」の問題も、概ね高い理解度を示している。また概数の学習をどのように生かすかという問題の正答率が96.1%と、意欲・関心・態度の高さが示された。	「今月のカレンダー」と、「うるう年について」という2つの資料を比較・関連させる問題の正答率が16.3%であり読み取る力に課題が見られた。「メモ」と「表」をどのように整理していくかという設問の正答率が35.7%と低く、解決する力に課題が見られた。
	2つの資料から、2年後のカレンダーについて考える。	16.3%		
	読み取ったことから、問題を解決する。	17.1%		
理科	星座早見の使い方について分かる。	45.0%	「骨と筋肉と関節の組み合わせ」を選ぶ問題が90.7%で理解している割合が高い。「電気が物を動かすことについて必要な情報を正確に取り出すこと」が92.2%、「学んだことを生かしていこうとすること」が94.6%と、思考力並びに意欲・関心が高さが示された。	「星座早見の使い方」について、基本的な技能の習得に課題があった。「ゴムの力を利用した実験から結果を予想すること」が48.8%、「回路のつなぎ方のちがいをもとに考えること」が67.4%と、「科学的な思考・表現」や、「解決する力」に課題が見られた。
	ゴムの力を利用したゴムカーが動く様子から、結果を予想する。	48.8%		
	回路のつなぎ方の違いをもとに考える。	67.4%		